

第6期

# 事業報告

自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

株式会社 島原観光ビューロー

# 第6期 事業報告

( 自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日 )

## 1. 株式会社の現状に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

2021 年度の観光業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とこれを踏まえた政府の緊急事態宣言に始まり、その再発令や延長、まん延防止等重点措置が断続的に実施されたことにより、旅行業界の生命線である人流が制限され旅行需要が大幅に低迷する状況が続きました。また、期待されたGoToトラベルキャンペーンも再開が見送られたこともあり、海外旅行やインバウンドを合わせた旅行マーケット全体としては、2020 年度に引き続き極めて厳しい状況となりました。

国内では、5 月第 4 波、8 月第 5 波、2 月第 6 波と感染拡大を繰り返し、8 月には弊社管理施設の休業休館を余儀なくされました。また、感染症だけではなく 8 月には島原半島で観測史上最大の記録的大雨が断続的に降り、雲仙温泉をはじめ島原市内でも土砂災害が発生しました。8 月のお盆前後は観光施設にとって夏の繁忙期ですが、一週間以上の長雨により観光客が減少しました。また、10 月にはガソリン価格の高騰、2 月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり世界的物流が停滞し、中国のゼロ・コロナ政策によるサプライチェーンの寸断などの影響でエネルギーや食料品を始め物価が上昇しました。2021 年度はコロナ感染拡大のみならず、自然災害、世界情勢の三重苦の一年でした。

- 4/12 高齢者 1 回目ワクチン接種開始
- 4/26 熊本城 5 年振りの一般公開が延期(6/28～)
- 4/29～11/2 高速道路休日割り停止
- 5/8 コロナ感染拡大第 4 波最多感染者(1 日 7,233 人)
- 5/8～6/7 長崎県独自緊急事態宣言
- 5/11～5/31 長崎市内 147 公共施設休館
- 7/23～9/5 東京オリンピック・パラリンピック史上初の無観客開催
- 8/11～8/18 島原市観測史上最大の降雨量と長雨
- 8/13 雲仙温泉の土砂災害(10 日間で年間 4 割の降雨量)
- 8/20 コロナ感染拡大第 5 波最多感染者(1 日 25,868 人)
- 8/23～9/12 島原観光ビューロー管理施設休業休館(21 日間)
- 10/18 ガソリン価格高騰全国平均 7 年ぶりの高値
- 11/26 オミクロン変異株国内確認
- 12/1 ワクチン 3 回目接種開始
- 1/21～3/6 長崎県まん延防止等重点措置(過去最長 45 日間)
- 2/4～3/13 北京冬季オリンピック・パラリンピック(外国人無観客)
- 2/2 長崎県最多感染者(703 人)
- 2/5 コロナ感染拡大第 6 波国内最多感染者(1 日 105,591 人)
- 2/24 ロシアによるウクライナ侵攻

こうした状況のなか、当社におきましては、経費削減の徹底や社員の一時休業、国県市のコロナ対策緊急事業の実施など緊急対策を推進するとともに、2021 年度中に対処すべき課題として収入・原価・経費構造改革を柱とした構造改革に取り組んでまいりました。収入構造改革ではVR(仮想現実)商品やMR(複合現実)商品としてホロレンズによる新しい歴史体験商品を提供。また、最新のE-BIKE(電動アシスト付自転車)2 車種 21 台を配備して、レンタサイクル 3 か所(島原城天守閣・清流亭・島原港観光案内所)乗捨てサービスを開始し、観光客の 2 次交通網充実を図りました。現在、島原半島で進められているサイクルツーリズムの一翼を担う取組みとなっています。原価構造改革では、本丸売店の棚割りやふるさと納税返礼商品取扱拡大、プライベートブランド商品として島原城の梅を使った梅ドロップスの開発、めぐりんチケット(島原城天守閣と四明荘共通入館券)への付帯サービスの充実を図りました。経費構造改革では、光熱費をはじめ経費削減に取り組みました。一方で、利用者の安全管理対策として天守閣駐車場の一方通行、城内徐行、駐車場案内等の看板設置を行いました。

## 2021年度中に対処すべき課題と結果について

(ア) with・after コロナ下の市場・経営環境を想定の上、70%の収益下でも生き残れる企業体質になるべく「構造改革2カ年計画」を策定、その2021年度目標額の達成を目指しました。

### 【近未来の市場を予測した仮説】

仮説(1) 市場は100%には戻らない、観光客▲30%の常態化により、自助への試練

仮説(2) 地域間の競争に晒される、共助からの選別

仮説(3) 2021年度から、国(県市)でも制御できない、公助の限界

### 【仮説下において、当社に起こりうるリスク】

リスク(1) 現在のコロナ環境が続けば、債務超過に陥りかねない

リスク(2) ここ1~2年の間に、既存観光モデルが通用しなくなるような、大きな変化が起こりうる

### 【起こりうるリスクに対し、個別の単年度対応計画を策定し実行】

債務超過 リスク ⇒ 計画1「方面1・時間軸1 2020年度 債務超過の回避戦」

モデル崩壊リスク ⇒ 計画2「方面2・時間軸2 2021年度 高・遠・長モデルへの転換戦」

## 課題①「収入構造改革」

■観光事業■「既存商品の磨き上げと新商品開発で消費額拡大」

めぐりんチケットへの付帯サービス強化、VR(仮想空間)・MR(複合世界)商品開発

■物販事業■「脱！昭和の土産品店、マルチタスク Shop への加速」

売店改革、棚割り、NET販売強化、プライベート商品開発

■新規事業■「21まちで新規事業へチャレンジ」

◇第4の2次交通網「乗捨て可能なめぐりチャリ事業」

◇湧水館第1ステージ～「古民家喫茶事業」

## 課題②「原価構造改革」

■観光事業■「損益分岐点(BEP)管理の徹底」

◇めぐりんチケット BEP2,000 冊化を実現します。

◇企画商品毎の損益把握と改善を継続します。

■物販事業■「ABC分析が全ての基本」

◇ABC分析・PPM分析に基づき、原価交渉を実施します。

\*分析・交渉結果を元にして、商品の選別と売れる棚割り・販促を行います。

◇継続してPB(プライベートブランド)を開発します。(自ら原価率低減に取り組みます)

## 課題③「経費構造改革」安全管理、防災体制を基本」

◇光熱費の見直し(電力会社との交渉)

以上を進めた結果、売上高は246,413千円(前期比97.0%)、売上総利益は207,176千円(前期比93.6%)、販管費は194,528千円(前期比93.4%)となり、営業利益は12,648千円(前期▲354千円)、経常利益は12,617千円(前期▲458千円)、当期純利益は9,324千円(前期▲3,532千円)となりました。

コロナ感染拡大1年目の2020年度と比較すると、指定管理施設の入館者、売上高は110~130%、コロナ前の2019年度と比較すると55~65%で推移している状況となりました。また、国県市のコロナ緊急対策事業は、減少を想定の上で積極的に取り組んだ結果、売上ベースで前期比59.7%でした。2021年度はコロナ感染拡大をはじめ、自然災害、世界情勢の影響を受けながら従業員一同必死に取り組んだ結果だと考えています。

しかしながら、今回の黒字も前期同様に助成金やコロナ対策事業の獲得が大きな割合を占めており、公助の力が大きかったと言えます。本来のあるべき姿ではないと考えています。

2022年度は、構造改革2カ年計画 ①after コロナ下での生き残りをかけて ②天守閣工事期間中の対策計画をたて、現在進めているところです。

## 指定管理施設入館者数及び売上状況推移

	第3期	第4期	第5期	第6期	前期増減
	(平成30年度)	(令和元年度)	(令和2年度)	(令和3年度)	
島原城(入館者)	119,359 人	124,100 人	59,340 人	68,873 人	9,533 人
島原城(売上高)	75,646 千円	77,010 千円	38,700 千円	44,403 千円	5,703 千円
本丸売店売上高	52,088 千円	58,732 千円	34,924 千円	43,403 千円	8,479 千円
清流亭売上高	7,718 千円	14,709 千円	10,386 千円	11,811 千円	1,425 千円
四明荘(入館者)	29,630 人	28,202 人	15,138 人	18,411 人	3,273 人
四明荘(売上高)	8,680 千円	8,227 千円	4,358 千円	5,219 千円	861 千円
めぐりんチケット	3,087 冊	2,961 冊	1,072 冊	1,134 冊	62 冊

注1: 売上高はコロナ対策収益含まず

注2: 入館者は有料入館者のみ

注3: 島原城売上高は入館料、駐車料金、城キャン、VR・MR、メダル、謎解きゲームなど

注4: めぐりんチケットは、島原城と四明荘の共通入館料＋各種割引サービスが付いたチケット

## (2) 資金調達等についての状況

設立時 2,005 株(払込金額1株につき 20,000 円)を発行し、資本金 40,100,000 円でスタートしました。その後、2016 年 11 月に増資を行い、995 株を追加発行して、資本金 60,000,000 円となり現在に至っております。

## (3) 財産及び損益状況の推移

	第3期	第4期	第5期	第6期	前期増減
	(平成30年度)	(令和元年度)	(令和2年度)	(令和3年度)	
売上高	220,728 千円	234,571 千円	253,956 千円	246,413 千円	▲7,542 千円
売上総利益	185,371 千円	187,452 千円	221,315 千円	207,176 千円	▲14,138 千円
販管費	195,492 千円	186,220 千円	208,313 千円	194,528 千円	▲13,785 千円
営業利益	▲10,121 千円	1,232 千円	13,002 千円	12,648 千円	▲354 千円
経常利益	▲9,332 千円	1,233 千円	13,075 千円	12,617 千円	▲458 千円
当期純利益	▲9,515 千円	1,050 千円	12,856 千円	9,324 千円	▲3,532 千円
1株当り純利益	▲3,172 円	350 円	4,285 円	3,108 円	▲1,177 円
総資産	68,154 千円	64,160 千円	80,153 千円	93,943 千円	13,789 千円
純資産	37,286 千円	38,336 千円	51,191 千円	60,515 千円	9,324 千円

## (4) 主要な営業所及び従業員の状況

名称	所在地
(株)島原観光ビューロー 島原城事務所	〒855-0036 島原市城内1丁目 1183-1
(株)島原観光ビューロー 島原港事務所	〒855-0861 島原市下川尻町 7-5

令和4年3月31日現在

	総合企画支援部	DMO 推進室	誘致営業推進部	商品企画販売部	合計	前期末増減
社員	2 (2)	1 (1)	4 (3)	5 (3)	12 (9)	±0
契約ほか	3 (0)	(0)	2 (1)	20(19)	25 (20)	±0
合計	5 (2)	1 (1)	6 (4)	25(22)	37 (29)	±0

注1: ( )内は女性

注2: 役員除く

## (5)2022年度の対処すべき課題

### 2022年度以降の取組みについて

(ア) after コロナ下、工事期間対応の単年度計画を策定し実行する。

2023 年度からの「2 ヵ年計画」のスタートを見据え、2022 年度は、市場は 100%には戻らない、観光客▲30%常態化、工事期間中の観光客減少に向けた 2022 年度単年度計画を取組みます。

→天守閣工事により島原城をはじめ市内観光施設への影響はコロナ禍の時よりも甚大かもしれない

#### 【2022年度：矢狭間塀・天守閣大規模工事】単年度計画

～回復・成長への基礎作り～

状態) after コロナ下で市場は 100%には戻らない、観光客▲30%の常態化、工事期間中の観光客減少  
取組) 人流拡大に向けた仕組みやインフラ再整備、デジタルコンテンツ開発、コスト改革、従業員処遇改善

#### 【2023年度：プレ島原城築城400年】2023-2024 年 2 ヵ年計画策定

～回復・成長～

状態) 築城 400 年に向けたイベントや記念グッズ、プロモーション強化で気運の醸成、インバウンド一部回復  
取組) 発信力強化、誘致活動への傾注、人財への投資

#### 【2024年度：島原城築城400年】

～成長・飛躍～

状態) 築城 400 年イベント開催、インバウンド完全回復、修学旅行拡大、島原半島 3 市が目に見える観光連携  
取組) 指定管理料 0 化への再チャレンジ

### (イ) 2021年度からスタートした委託2事業の進捗について

2020 年度で終了した「島原城七万石物語事業」、「湧水城下町おもてなし事業」の後継事業を確保でき、引き続き雇用を守ることができました。2022 年 4 月から 2 名の武将が加わり合計 5 名で活動しています。

#### ①2021 年度～2025 年度「島原城築城 400 年武将隊PR事業」

\* 国の委託事業として 5 年間獲得

島原城でのおもてなし、受付、演舞、島原観光PR、SNS情報発信、地元特産品PRなど

#### ②2021 年度～2023 年度「鯉の泳ぐまち魅力アップ事業」

\* 県の委託事業として 3 年間獲得

古民家喫茶事業「Koiカフェゆうすい館」

文化庁の事業で“島原名物かんざらし”が、江戸時代から続く郷土の料理として「伝統の100年フード」に認定され、湧水館が学びや体験の提供に取り組んでいる施設として「食文化ミュージアム」に認定されました。

### (ウ) 2022 年度の見通しについて

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が進み、一部の国と地域では入国制限の解除など旅行回復の動きが確認できる一方で、ウクライナ問題、中国での感染者拡大(ゼロコロナ政策)、日本国内での感染者高止まり、新たな変異株の脅威など、依然として需要の想定が困難な状況が続いています。また、インバウンド回復においては徐々に日本入国時における制限が緩和されてきていますが、完全回復までにはまだまだ時間がかかることから、当社の企業活動が今後も影響を受けることが予想されます。また、間もなく島原城築城 400 年に向けた天守閣の工事が始まり天守閣の外観が工事幕に覆われ全く見えなくなります(館内は通常営業)。それにより観光客の入館数にも大きく影響を受けると想定しています。もしかするとコロナ感染拡大よりも大きな影響を受ける可能性があります。2022 年度も厳しい状況であることは間違いありません。

## (6)剰余金の配当等を、取締役会が決定する旨の定款の定めがあるときの権限の行使に関する方針

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要な施策の一つとして位置付けております。

当社は、将来における安定的な成長と、環境の急激な変化にも対応できるよう、必要な内部留保を先に確保し、その上で経営成績に応じ、株主への利益還元を継続的に行うことを基本とします。一つの指標として、指定管理料 0 化を達成した際に株主への利益還元を行いたいと考えています。

## 2. 株式に関する事項

- ①発行可能株式数 3,000 株
- ②発行済株式の総数 3,000 株
- ③当事業年度末の株主数 222 名
- ④大株主(発行済株式総数の 10 分の 1 以上)

令和 4 年 3 月 31 日現在

株主名	持株数
島原市	2,000 株

## 3. 会社役員に関する事項

### (1)取締役及び監査役の氏名等

令和 4 年 3 月 31 日現在

地位及び担当	氏名	他の法人等の代表状況
代表取締役	市瀬 一馬	
取締役	古川 隆三郎	島原市長
取締役	満井 敏隆	島原商工会議所 会頭
取締役	浜野 彰	島原市商工観光部理事兼島原ふるさと創生本部長
監査役	西田 理恵子	西田税務会計事務所

- 注1 取締役古川隆三郎氏、満井敏隆氏、浜野彰氏は会社法第 2 条 15 号に定める社外取締役となります。
- 注2 監査役西田理恵子氏は、会社法第 2 条 16 号に定める社外監査役ではありますが、その中でも独立役員となります。
- 注3 監査役西田理恵子氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

### (2)取締役及び監査役の報酬等の総額

	人員	報酬等の額
取締役	4 人	8,000,000 円
監査役	1 人	1,000,000 円
計	5 人	9,000,000 円

- 注1 報酬等の額は令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日までの合計額です。
- 注2 古川取締役、満井取締役、浜野取締役は、その社会的立場から無報酬としています。

### (3)社外独立役員取締役会への出席及び発言状況

	氏名	主な活動状況
監査役	西田 理恵子	令和 3 年 6 月 19 日第 6 期・第 2 回取締役会、11 月 13 日第 4 回取締役会、令和 3 年 2 月 24 日第 5 回取締役会、6 月 7 日令和 4 年度第 1 回に出席されました。8 月 30 日第 3 回取締役会はコロナ感染拡大による緊急事態宣言が発出され移動制限によりやむなく欠席となりました。主に税理士としての専門的見地から、議案・審議等につき必要な発言を適宜行っております。

決 算 報 告 書

(第 6 期)

自 令和 3年 4 月 1 日  
至 令和 4年 3 月 31 日

株式会社島原観光ビューロー

長崎県島原市下川尻町 7 番地 5

## 比較 貸借対照表

株式会社島原観光ビューロー

## 【資産の部】

単位：円

科 目	当 期	前 期	差 額	前 期 対 比
<b>【流動資産】</b>	<b>【 79,393,212 】</b>	<b>【 58,984,027 】</b>	<b>【 20,409,185 】</b>	<b>134.6</b>
1 現 金	2,227,865	2,292,255	▲64,390	97.2
2 預 金	70,014,448	40,812,543	29,201,905	171.6
3 売 掛 金	2,995,918	3,674,111	▲678,193	81.5
4 商 品	1,609,220	911,647	697,573	176.5
5 貯 蔵 品	415,061	532,116	▲117,055	78.0
6 仮 払 金		22,000	▲22,000	
7 前 払 費 用	12,000	16,000	▲4,000	75.0
8 未 収 入 金	2,118,700	10,723,355	▲8,604,655	19.8
<b>【固定資産】</b>	<b>【 14,549,326 】</b>	<b>【 21,169,153 】</b>	<b>【 ▲6,619,827 】</b>	<b>68.7</b>
9 (有形固定資産)	( 8,564,347 )	( 12,706,234 )	( ▲4,141,887 )	<b>67.4</b>
10 建 物	931,500	1,069,500	▲138,000	87.1
11 建 物 附 属 設 備	524,140	612,893	▲88,753	85.5
12 構 築 物	1,388,574	1,609,110	▲220,536	86.3
13 車 両 運 搬 具	2	2	0	100.0
14 工 具 器 具 備 品	5,720,131	9,414,729	▲3,694,598	60.8
15 (無形固定資産)	( 4,984,979 )	( 7,462,919 )	( ▲2,477,940 )	<b>66.8</b>
16 商 標 権	21,752	35,092	▲13,340	62.0
17 ソフトウェア	4,963,227	7,427,827	▲2,464,600	66.8
18 (投資他の資産)	( 1,000,000 )	( 1,000,000 )	( 0 )	<b>100.0</b>
19 差 入 保 証 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0
<b>資 産 合 計</b>	<b>93,942,538</b>	<b>80,153,180</b>	<b>13,789,358</b>	<b>117.2</b>

## 【ポイント】

6期目に資産合計が90,000千円を超えました。

(参考) 2016年度/80,006千円 →2017年度/67,383千円 →2018年度/68,154千円 →2019年度/64,160千円  
→2020年度80,153千円 →2021年度/93,943千円

1. 2 現金と預金 前期より 29,136千円増加 … 2019年度 34,071千円 →2020年度 43,105千円 →2021年度 72,242千円
8. 未収入金 前期より ▲8,605千円減少 … 前期は通常の営業以外の国県市事業があった。
14. 工具器具備品 前期より ▲3,695千円減少 … 諸法令で認められる範囲で償却を実施、財務体質強化を進めました。
17. ソフトウェア 前期より ▲2,465千円減少 … 諸法令で認められる範囲で償却を実施、財務体質強化を進めました。



## 比較 貸借対照表

株式会社島原観光ビューロー

## 【負債・純資産の部】

単位：円

科 目	当 期	前 期	差 額	前 期 対 比
<b>【流 動 負 債】</b>	<b>【 33,427,639 】</b>	<b>【 28,961,950 】</b>	<b>【 4,465,689 】</b>	<b>115.4</b>
20 買 掛 金	3,192,094	4,122,643	▲930,549	77.4
21 未 払 金	12,761,642	14,918,192	▲2,156,550	85.5
22 未払法人税等	3,293,200	219,600	3,073,600	1499.6
23 未払消費税等	6,659,000	0	6,659,000	
24 預 り 金	4,128,923	7,439,317	▲3,310,394	55.5
25 仮 受 金	780	198	582	393.9
26 賞 与 引 当 金	3,392,000	2,262,000	1,130,000	150.0
<b>負 債 合 計</b>	<b>33,427,639</b>	<b>28,961,950</b>	<b>4,465,689</b>	<b>115.4</b>
<b>【株 主 資 本】</b>	<b>【 60,514,899 】</b>	<b>【 51,191,230 】</b>	<b>【 9,323,669 】</b>	<b>118.2</b>
27 資 本 金	60,000,000	60,000,000	0	100.0
28 (利益剰余金)	( 514,899 )	( ▲8,808,770 )	( 9,323,669 )	-5.8
29				
29				
29				
30				
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>60,514,899</b>	<b>51,191,230</b>	<b>9,323,669</b>	<b>118.2</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>93,942,538</b>	<b>80,153,180</b>	<b>13,789,358</b>	<b>117.2</b>

## 【ポイント】

3期連続の黒字により、2020年度末▲8,809千円だった資本欠損が、+515千円となりました。

- 22. 未払法人税等 前期は過去の欠損金の繰越控除
- 23. 未払消費税等 前期は非課税事業の助成金・補助金事業が多かった
- 30. 繰越利益剰余金 2020年度 1株 17063.7円だったものが、1株 20171.6円となりました。

## 比較 損益計算書

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

	科 目	当 期	前 期	差 額	前期 対比
1	【 売 上 高 】	【 246,413,380 】	【 253,955,596 】	【 ▲7,542,216 】	97.0
2	本部事業収益	39,056,082	32,349,613	6,706,469	120.7
3	島原城事業収益	44,402,740	38,699,874	5,702,866	114.7
4	本丸売店事業収益	43,403,387	34,923,912	8,479,475	124.3
5	観光振興事業収益	18,870,244	17,325,540	1,544,704	108.9
6	DMO推進事業収益	6,171,819	5,930,532	241,287	104.1
7	湧水館事業収益	181,485	132,546	48,939	136.9
8	四明荘事業収益	5,218,740	4,357,850	860,890	119.8
9	清流亭事業収益	11,811,468	10,386,054	1,425,414	113.7
10	築城400武将隊PR収益	15,180,070	15,235,165	▲55,095	99.6
11	鯉の泳ぐまち魅力UP収益	9,741,959	9,370,300	371,659	104.0
12	コロナ対策事業収益	50,905,426	85,239,460	▲34,334,034	59.7
13	旅行業事業収益	1,469,960	4,750	1,465,210	30946.5
14	【 売 上 原 価 】	【 39,236,988 】	【 32,641,044 】	【 6,595,944 】	120.2
15	期首棚卸高	911,647	1,212,819	▲301,172	75.2
16	売店仕入	28,384,831	22,327,984	6,056,847	127.1
17	清流亭仕入	8,224,910	7,149,748	1,075,162	115.0
18	委託仕入	696,740	53,541	643,199	1301.3
19	DMO仕入	1,066,185	1,457,703	▲391,518	73.1
20	湧水館仕入	150,753	112,220	38,533	134.3
21	観光振興仕入	343,702	295,294	48,408	116.4
22	本部仕入	1,067,440	943,382	124,058	113.2
23	期末棚卸高	▲1,609,220	▲911,647	▲697,573	176.5
24	売 上 総 利 益	207,176,392	221,314,552	▲14,138,160	93.6
25	【 販売費及び一般管理費 】	【 194,528,409 】	【 208,312,940 】	【 ▲13,784,531 】	93.4
26	営 業 利 益	12,647,983	13,001,612	▲353,629	97.3
27	【 営 業 外 収 益 】	【 93,177 】	【 77,945 】	【 15,232 】	119.5
28	受取利息	509	418	91	121.8
29	雑収入	92,668	77,527	15,141	119.5
30	【 営 業 外 費 用 】	【 124,291 】	【 4,325 】	【 119,966 】	2873.8
31	経 常 利 益	12,616,869	13,075,232	▲458,363	96.5
32	税 引 前 当 期 純 利 益	12,616,869	13,075,232	▲458,363	96.5
33	法人税等	3,293,200	219,600	3,073,600	1499.6
34	当 期 純 利 益	9,323,669	12,855,632	▲3,531,963	72.5

## 比較 販売費及び一般管理費

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

	科 目	当 期	前 期	差 額	前 期 対 比
1	役 員 報 酬	9,000,000	9,200,000	▲200,000	97.8
2	給 与 手 当	27,488,630	28,782,541	▲1,293,911	95.5
3	賃 金	40,716,664	42,688,029	▲1,971,365	95.4
4	賞 与	2,262,000	3,377,550	▲1,115,550	67.0
5	賞与引当金繰入額	3,392,000	2,262,000	1,130,000	150.0
6	法 定 福 利 費	11,404,903	11,667,154	▲262,251	97.8
7	福 利 厚 生 費	349,707	405,606	▲55,899	86.2
8	旅 費 交 通 費	1,274,807	1,061,300	213,507	120.1
9	通 信 費	1,615,696	1,490,351	125,345	108.4
10	交 際 費	133,346	149,374	▲16,028	89.3
11	会 議 費	69,654	57,850	11,804	120.4
12	減 価 償 却 費	6,619,827	16,397,019	▲9,777,192	40.4
13	地 代 家 賃	300,000	300,000	0	100.0
14	リ ー ス 料	2,506,749	1,146,144	1,360,605	218.7
15	保 險 料	3,067,640	851,683	2,215,957	360.2
16	修 繕 費	864,354	971,396	▲107,042	89.0
17	水 道 光 熱 費	8,544,468	8,983,956	▲439,488	95.1
18	燃 料 費	407,147	225,277	181,870	180.7
19	消 耗 品 費	6,955,697	5,744,266	1,211,431	121.1
20	租 税 公 課	110,577	131,764	▲21,187	83.9
21	事 務 用 品 費	286,853	312,444	▲25,591	91.8
22	広 告 宣 伝 費	1,695,409	2,099,405	▲403,996	80.8
23	支 払 手 数 料	1,129,905	712,853	417,052	158.5
24	諸 会 費	511,375	538,000	▲26,625	95.1
25	新 聞 函 書 費	52,632	52,632	0	100.0
26	開 発 費	645,220	2,030,584	▲1,385,364	31.8
27	観 光 事 業 費	2,103,485	1,993,260	110,225	105.5
28	自 主 事 業 費		33,980	▲33,980	
29	剪 定 防 除 費	3,027,800	1,982,700	1,045,100	152.7
30	業 務 委 託 費	13,335,604	19,891,317	▲6,555,713	67.0
31	管 理 委 託 費	15,147,296	14,897,145	250,151	101.7
32	負 担 金	564,000	548,974	15,026	102.7
33	消 費 税	8,874,300	4,431,200	4,443,100	200.3
34	印 刷 製 本 費	1,584,014	2,533,160	▲949,146	62.5
35	諸 謝 金	80,000	50,952	29,048	157.0
36	コ 口 ナ 特 別 経 費	15,658,631	19,289,059	▲3,630,428	81.2
37	雑 費	2,748,019	1,022,015	1,726,004	268.9
	合 計	194,528,409	208,312,940	▲13,784,531	93.4

## 株主資本等変動計算書

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

## 株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	60,000,000
-----	--------------	------------

利益剰余金		
-------	--	--

その他利益剰余金		
----------	--	--

繰越利益剰余金	当期首残高	▲8,808,770
---------	-------	------------

当期変動額	当期純利益	9,323,669
-------	-------	-----------

当期末残高		514,899
-------	--	---------

利益剰余金合計	当期首残高	▲8,808,770
---------	-------	------------

	当期変動額	9,323,669
--	-------	-----------

	当期末残高	514,899
--	-------	---------

株主資本合計	当期首残高	51,191,230
--------	-------	------------

	当期変動額	9,323,669
--	-------	-----------

	当期末残高	60,514,899
--	-------	------------

純資産合計	当期首残高	51,191,230
-------	-------	------------

	当期変動額	9,323,669
--	-------	-----------

	当期末残高	60,514,899
--	-------	------------

## 個別注記表

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

## 会計方針の変更に関する注記

会計方針の変更

該当なし

## 表示方法の変更に関する注記

表示方法の変更

該当なし

## 貸借対照表等に関する注記

その他

有形固定資産の減価償却累計額

当 期

35,295,119円

前 期

28,675,292円

## 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

当 期

前 期

前期末株式数（発行済普通株式）

3,000株

3,000株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

3,000株

3,000株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

## その他の注記

その他

部門間内部取引 売上・仕入等に2,772,926円含んでおります。

# 監査報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの、第6期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに係る資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 二、取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 4年 6 月 9 日

株式会社 島原観光ビューロー

監査役 西田 理恵子 